




MGU Chapel Letter

—第 21 号 2023 年 3 月 3 日— 発行：大学宗教センター



* 2022 年度聖句 *

「主の慈しみは決して絶えない。

主の憐みは決して尽きない。」

哀歌 3 章 22 節



卒業・修了礼拝があります

日時：3月16日(木) 10時～11時 礼拝堂

佐々木哲夫学院長が、「新しい創造」という題でメッセージを述べて下さいます。音楽科4年生による賛美演奏も予定されています。特に4年生の方々は、卒業前にぜひもう一度礼拝に出席し、聖書が語りかけてくれるはなむけの言葉を受け取りましょう。

❖ トルコ・シリア地震緊急支援募金のお願い

2月6日にトルコ南東部・シリア北西部で発生した大地震は、東日本大震災以来の大惨事となりました。すでに5万人以上の死亡が確認されております。

被災者を支援するために宮城学院は緊急災害支援募金を立ち上げ、募金箱を設置しました。大学内では、キリスト教センター(礼拝堂1階)で募金を集めています。

期間は 2月20日(月)から3月20日(月)まで。集まった支援は、国連の窓口機関に学校法人宮城学院として送金されます。

皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。





✦ 卒業にあたって ✦

卒業生の皆さん、おめでとうございます。この4年間、困難なこともあったと思いますが、いよいよ間もなく本学での学びを終えて、社会に向けて巣立つこととなります。

ここで1つ、思い出したい聖書の言葉があります。

「わたしは、こう祈ります。知る力と見抜く力とを身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように。」(伝道者パウロの言葉 フィリピの信徒への手紙第1章9節—10節a)。

この言葉は2020年度以来、本学の入学式で朗読されているものです。これは確かに、大学で学び取りたい力を示していますね。この4年の間に、正しい知識を知って物事を識別する力がついただろうか。他者を大切にできる心が、より深くなっただろうか。人生の中で何が重要になるか、判断する力を得ただろうか。卒業する前に、ぜひ考えてみたいことです。

「う～ん、とてもそんな力はないなあ」と気弱になってしまうかも知れませんが、焦る必要はありません。大学で学んだこと、身についたことは多くの場合、これから社会を生きて行く中でだんだん明らかになって来るものです。すぐに役立つ知識や技術だけが学びの成果ではないのですね。

大学生活の間に、今の自分にはまだ見えていない成長の種が、沢山皆さんの中にまかれています。人生の中でその種が実を結んで行くことができるよう、これからも、上に挙げたパウロの言葉の意味を考えながら、自分の生き方の中で何が一番重要なことなのか、どうすれば愛がさらに豊かになるか、問い直しながら歩いて行きましょう。

その中で、ぜひときどき聖書を開いてみて下さい。以前は意味が分からなかった言葉、共感できなかった言葉が、急に自分事として思えて来ることもあります。人生のいろいろな段階で新しいことを語りかけてくれるのが、聖書の奥深いところ。この面白さを味わって行きましょう。

【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL : 022-279-9558

Email : christ-c@mgu.ac.jp